

認知症ケア指導計画書

受講番号（ ）グループ（ ）受講者名

	指導課題 (課題全体の考察)	優先 順位	指導目標 (1か月後の目標)	期間	具体的方法
認知症ケアの知識	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症ケアの理念や考え方の知識不足 ● 本人の視点からみた尊厳の保持の重要性の理解 ● 不適切なケアや回避方法の知識不足 	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症ケアの理念や尊厳の保持の重要性を理解する。 ● 不適切なケアやその回避方法（コミュニケーション）を学ぶ。 	○月 ○日 ～ △月 △日	<ul style="list-style-type: none"> ● 参考となるテキストから該当箇所を読んで学んでもらう。 ● 学んだ内容について、質問して理解を確認する。
アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の気持ち（行動の理由など）を確認していない。 ● アセスメントの必要性の理解不足 ● 本人の行動に関係している要因を分析していない。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の気持ちを確認（推測）する。 ● 本人の行動に関係する要因を分析することができる。 ● 本人の行動の特徴（前後の状況を含む）を確認できる。 	△月 △日 ～ □月 □日	<ul style="list-style-type: none"> ● そのときの本人の気持ちを聞くように促す。 ● 「ひもときシート」の項目等を示して、要因を分析する方法を伝える。 ● 観察した経過を介護記録に残し、確認するように伝える。
介護方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の思いを受け止めた対応や適切なコミュニケーションができていない。 ● アセスメント結果に基づく介護を実践していない。 ● 他職種との連携が不足している。 ● チームケアの理解が不足している。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の思いを受け止めた対応や適切なコミュニケーションができる。 ● アセスメント結果に基づく介護を実践できる。 ● 他職種との連携ができる。 ● チームケアを意識し報告・連絡・相談ができる。 ● 介護評価を視野においた観察と記録ができる。 	△月 △日 ～ □月 □日	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際の現場でコミュニケーションの方法を見せ、フィードバックを行う。 ● コミュニケーションをとってもらい、フィードバックを行う。 ● アセスメントに基づく要因の改善を図ることを促す（環境、活動、生理的欲求など） ● 機能訓練指導員に身体機能を評価してもらうように伝える。 ● 送迎時に得た情報を生活相談員に報告するように伝える。 ● 介護評価に必要な観察と記録について一緒に確認する。
介護評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護の結果、本人の状態等に変化があったかを確認していない。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護の結果、本人の状態等に変化があったかを客観的に確認することができる。 	◇月 ◇日 ～ ■月 ■日	<ul style="list-style-type: none"> ● かかわりの前、途中、後の行動や発言の頻度、様子など変化の記録をするように伝える。 ● 記録を基に、一緒に結果の評価を行う。